

京都市消費者物価指数 令和7年平均

2020年(=100)基準

令和8年1月23日
京都府企画統計課
電話:075-414-4507

概況

- (1) 総合指数は112.3 前年比は3.4%の上昇
 (2) 生鮮食品を除く総合指数は111.5 前年比は3.3%の上昇
 (3) 生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は111.2 前年比は3.2%の上昇

◎ 前年との比較(10大費目)

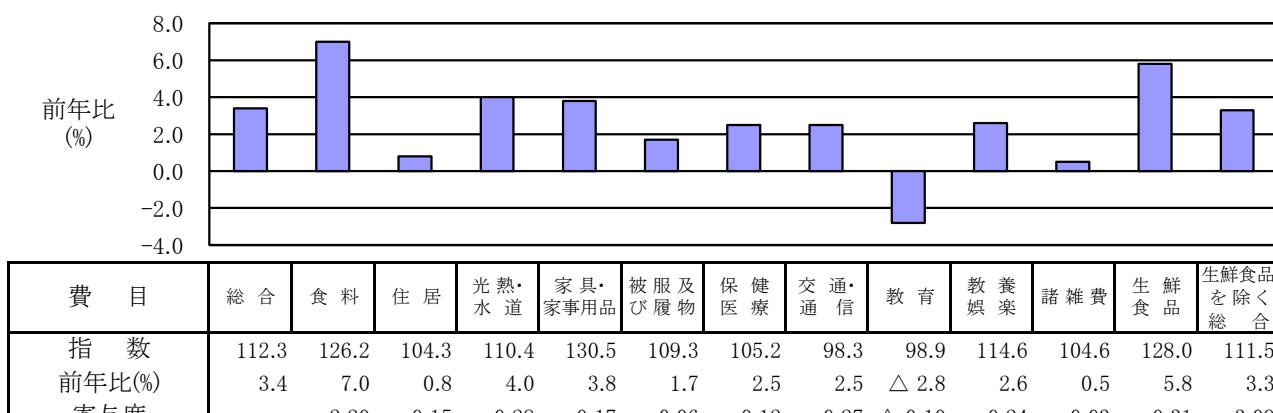
[上昇] 食料7.0%、光熱・水道4.0%、交通・通信2.5%、教養娯楽2.6%、
 家具・家事用品3.8%、住居0.8%、保健医療2.5%、被服及び履物1.7%、
 諸雑費0.5%
 [下落] 教育△2.8%

◎ 総合指数の推移



費目別

◎ 前年との比較



注1 この資料は、総務省統計局『小売物価統計調査』の結果に基づき、作成しています。

2 費目・品目の配列は、寄与度(総合指数の変化率に対する影響度)の大きいものから順になっています。

3 前年比は各基準年の公表値とし、2020年基準の指標値による再計算は行っていません。(斜体部分)

4 前年比は、端数処理前の指標値を用いて計算しているため、公表された指標値を用いて計算した値とは一致しない場合があります。

食料	126.2となり、前年に比べ7.0%上昇しました。		
[上昇]	穀類	21.3%	うるち米、もち、カレーパンなど
	外食	7.2%	すし(外食)、ぎょうざ(外食)など
	菓子類	8.9%	チョコレート、だいふく餅、ケーキなど
住居	104.3となり、前年に比べ0.8%上昇しました。		
[上昇]	設備修繕・維持	4.4%	火災・地震保険料、システムキッチンなど
	家賃	0.2%	持家の帰属家賃など
光熱・水道	110.4となり、前年に比べ4.0%上昇しました。		
[上昇]	電気代	7.8%	電気代
	ガス代	1.5%	都市ガス代
	他の光熱	6.8%	灯油
家具・家事用品	130.5となり、前年に比べ3.8%上昇しました。		
[上昇]	家庭用耐久財	5.8%	ルームエアコン、冷蔵庫、空気清浄機など
	家事雑貨	5.9%	電球・ランプ、タオル、マットなど
	家事用消耗品	2.6%	洗濯用洗剤、トイレットペーパーなど
[下落]	室内装備品	△5.1%	照明器具など
被服及び履物	109.3となり、前年に比べ1.7%上昇しました。		
[上昇]	他の被服	5.1%	帽子など
	履物類	1.4%	子供靴など
	洋服	0.7%	女性用上着、子供用ズボン(秋冬物)など
保健医療	105.2となり、前年に比べ2.5%上昇しました。		
[上昇]	保健医療用品・器具	7.0%	マスク、サポーター、コンタクトレンズなど
	医薬品・健康保持用摂取品	2.6%	鼻炎薬、はり薬、サプリメントなど
	保健医療サービス	0.5%	診療代など
交通・通信	98.3となり、前年に比べ2.5%上昇しました。		
[上昇]	自動車等関係費	2.2%	自動車保険料(任意)、カーナビゲーションなど
	通信	4.1%	通信料(携帯電話)、はがき、封書
	交通	1.1%	タクシ一代など
教育	98.9となり、前年に比べ2.8%下落しました。		
[上昇]	補習教育	1.9%	補習教育(高校・予備校)など
[下落]	授業料等	△4.5%	高等学校授業料、PTA会費(小学校)など
教養娯楽	114.6となり、前年に比べ2.6%上昇しました。		
[上昇]	教養娯楽サービス	2.6%	宿泊料、講習料(ダンス)、ペット美容院代など
	教養娯楽用品	3.1%	ペットフード、鉢植え、水着など
	書籍・他の印刷物	3.9%	新聞代(全国紙)、単行本(新潮文庫)など
[下落]	教養娯楽用耐久財	△0.9%	パソコン(デスクトップ型)など
諸雑費	104.6となり、前年に比べ0.5%上昇しました。		
[上昇]	理美容用品	1.0%	整髪料など
	他の諸雑費	0.5%	傷害保険料など
[下落]	身の回り用品	△1.2%	バッグ(輸入ブランド品を除く。)、腕時計